

▶ 有識者をはじめとする皆様から、特に、観光振興や環境学習に係る自然環境の活用について、ご意見・情報提供を頂くため、第1回目の自然環境活用部会を開催した。

- 日 時 = 令和4年12月16日(金) 13:00~15:15 (敬称略)
- 開催場所 = 北陸地方整備局(WEB会議併用)
- 事務局 = 国土交通省 北陸地方整備局河川部
- 現地出席者 = 関島恒夫(新潟大学 教授)、藤田美幸(新潟国際情報大学 准教授)、村山敏夫(新潟大学 准教授)、磯貝浩史((公社)新潟県観光協会)、中村茂((株)新潟日報社)、山田秀行(新潟市北区観光協会)、増田有貴(上越教育大学教職大学院)
- Web出席者 = 玉木朋人(新潟県商工会連合会 事務局長)、佐藤安男(福島潟みらい連合 事務局長)、細山田得三(長岡科学技術大学教授)、佐藤巖(瓢湖の白鳥を守る会 事務局長)、鈴木重幸((一社)長岡市緑地協会 代表)、佐渡市、関東地方環境事務所、信濃川河川事務所、信濃川下流河川事務所、阿賀野川河川事務所

自然環境活用部会

(年2回程度開催、行動計画策定後1回開催)

目的: 指標種をはじめ水辺に係る地域資源を活かした経済の活性化、地域に関することについて検討を行う

<次第>

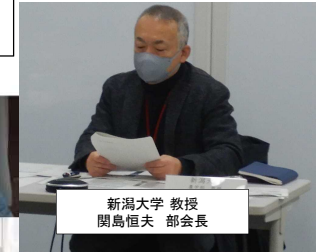
1. 開会
2. 規約の確認
3. 部会長、副部会長の選任
4. 議事
 - (1) 自然環境活用部会の進め方について
 - (2) 越後平野生態系ネットワーク全体構想及び行動計画について
 - (3) 前回協議会を踏まえた方策案とモデルプロジェクトについて
 - (4) 環境学習について
 - ・増田氏: 村上市立荒川中学校における環境学習について
 - ・中村委員: 新潟日報社における環境学習について
 - (5) その他
5. 閉会



会場の様子



Web会議の様子



新潟大学 教授
関島恒夫 部会長



新潟国際情報大学 准教授
藤田美幸 副部会長

議事(3) 前回協議会を踏まえた方策案とモデルプロジェクトについて

- 福島潟の魅力向上に向けたアクティビティ ⇒ 福島潟エコツアーリズム・モニターツアー 晩秋の福島潟くつろぎの時間 実施報告
- 周辺施設との連携
- レンタサイクルの活用



新潟市北区観光協会
山田 秀行 氏



雁晴れ舎でのガン・ハクチョウ類の→
ねぐら入り観察の様子

←佐藤委員による
雁晴れ舎までの案内の様子

主な意見交換の内容

- ・活動を自走させることを目指し、担い手を発掘が重要。
- ・景色を見ながら、お茶を飲む体験は、地域の人から遠方の観光客まで、地域の魅力を知る重要な切り口になる。
- ・「新体験」、「日常からの脱却」という欲求を満たすコンテンツづくりが重要。
- ・UX(ユーザーエクスペリエンス)デザインの思考も必要。
- ・観光客のバックグラウンドを社会科学的な視点で調査し、ターゲット層に分けて戦略的に進められると良い。藤田委員と山田委員で連携してもらい、解析・アイデア出し等を進めていただければ幸い。
- ・村山委員によるSDGs番組や中村委員の新潟日報社における広報等、皆様との協力の下、進めていきたい。

議事(4) 環境学習について

- 新潟県内小学生・中学生を対象に開催した佐渡1泊2日 環境学習の紹介
- 子どもたちは非常に熱心で、自然学習や体験に飢えている印象を持った。反響良く、来年度も実施予定。



上越教育大学教職大学院
増田 有貴 氏

- 環境学習の課題
 - 生態系ネットワークの有機的な結びつきの理解、校外での自然体験学習の機会等
- 今後の連携案
 - 「総合的な学習の時間でフィールドワーク」
 - 「生徒がゼミのように学び合える場づくり」
 - 「地域貢献プロジェクトの環境分野チームの伴走」等



(株)新潟日報社 総合プロデュース室
プロデューサー(室長)
中村 茂 委員

主な意見交換の内容

- ・地域のゼミのような意見交換の場をつくるというのは非常に良い。
- ・地域の学校が繋がるプラットフォームの仕組みづくりの推進が重要。
- ・県や地方、年代をまたいだネットワークの構築や、「ラムサール条約の湿地自治体認証」を通じた海外との連携など、様々な分野でネットワークの拡大を進められると良い。
- ・子どもたちに魅力的な派遣授業を行うのも良い。

生息環境検討部会(第1回)を開催

資料3-2

➤ 有識者をはじめとする皆様から、指標種の生息環境の保全、再生及び創出に関するご意見・情報提供を頂くため、第1回目の生息環境検討部会を開催した。

- 日 時 = 令和5年1月16日(金) 13:00~15:15 (敬称略)
- 開催場所 = 北陸地方整備局(WEB会議併用)
- 事務局 = 国土交通省 北陸地方整備局
- 現地出席者 = 河口洋一(徳島大学 准教授)、関島恒夫(新潟大学 教授)、佐藤安男(新潟県水鳥湖沼ネットワーク)、信濃川下流河川事務所
- Web出席者 = 藤田美幸(新潟国際情報大学 准教授)、北陸農政局、関東地方環境事務所、新潟県環境局、新潟県農林水産部、新潟県農地部、新潟県土木部、新潟市土木部、新潟市農林水産部、新潟市環境部、長岡市環境部、新発田市、阿賀野川河川事務所、佐渡市

生息環境検討部会

(年2回開催、行動計画策定後1回開催)

目的:指標種の生息環境の保全、再生及び創出に関する
ことについて検討を行う

<次第>

1. 開会
2. 規約の確認
3. 部会長、副部会長の選任
4. 議事
(1) 生息環境検討部会の進め方
(2) 越後平野生態系ネットワーク全体構想と行動計画のイメージについて
(3) 生息ポテンシャルマップ(ガン類、ハクチョウ類)と取組地域の選定について
(4) その他
5. 閉会



【生息環境検討部会の進め方について】

主な意見交換の内容

- ・限定・試行的に実施し、効果検証のち、本格的に進めると良い。
- ・Eco-DRRを取り入れた治水事業が進められると良い。
- ・他地域の環境整備の先駆事例の情報収集を行い、維持管理上の課題を抽出しておく、計画が立てやすいだろう。

【越後平野生態系ネットワーク全体構想と行動計画のイメージについて】

主な意見交換の内容

- ・役割を担う関係各所に積極的に取組を進めて頂くには、理解を得ることが重要。
- ・将来的な社会問題に対して、総合計画等に関連づけて本取組を実施していくことが望ましい。
- ・耕作放棄地や森林の活用・維持という課題に対しては、農地GISデータ等を活用し、市町村レベルでの検討に繋がるとよい。
- ・具体的な場所で実際に活動する際にはワーキングを開いてもよいだろう。
- ・現在参画していない関係機関等にいち早く・広く声掛けをし、会議に参加してもらった方がよい。

【生息ポテンシャルマップ(ガン類、ハクチョウ類)と取組地域の選定について】

主な意見交換の内容

- ・生態学の立場から根拠のある保全目標の設定は困難。
- ・30 by 30やネットゼロのように政治的に数値目標を定めてもよいのでは。
- ・本事業の取組による治水効果についてのシミュレーションも示せるとよい。
- ・生物多様性地域戦略と生態系ネットワーク事業との紐づけを担当者同士で行っていただきたい。

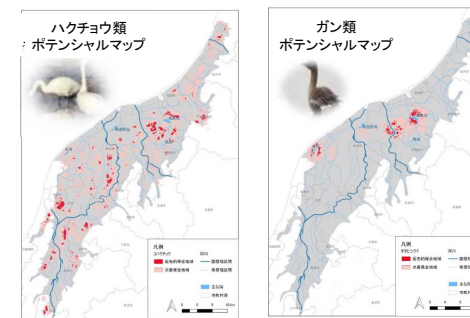


図-資料2- ハクチョウ類(コハクチョウ)の生息ポテンシャルマップ 図-資料1- ガン類(オオヒシクイ)の生息ポテンシャルマップ
*調査データをもとに作成
*国土数値情報(市町村界、河川、湖沼データ)(国土交通省)
*河川(河川総合データベース) (国土交通省) (2022年12月1日取組)
*オオヒシクイの生息地マップ(関東研究発表会)
*河川(河川総合データベース) (国土交通省)
*国土数値情報(市町村界、河川、湖沼データ)(国土交通省)
*河川(河川総合データベース) (国土交通省) (2022年12月1日取組)
*オオヒシクイの生息地マップ(関東研究発表会)

- ・自然再生事業の場所とガン・ハクチョウ類の生息ポテンシャルが高い地域は非常に近いので、既に、生態系ネットワークの核となる事業を行っているのとらえられる。
- ・流域治水としてのゴールに対して、達成度合いを評価する仕組みを作りが重要。
- ・重要な生息地での耕作放棄地の増加が明らかになれば、その場所で取組むべきことについて考えられる。
- ・阿賀野川の自然再生事業の目的、整備内容や箇所などを紹介いただきたい。
- ・越後平野内の他の市町村にも早く声かけをし、会議に参加してもらった方がよい。また、県においては、環境対策課以外の部署への声かけも必要。

生息環境検討部会(第1回)ご意見について

- 全体構想については、越後平野における生態系ネットワークの目指す方向性について一度とりまとめるもの。
- 今後、取組箇所や取組内容・取組主体について、ポテンシャルマップ作成や検討を進めるにつれ具体化が進んでいくため、令和5年度以降、越後平野の自治体や関係部局への参加の声かけを行っていきたい。

越後平野内の自治体

※網掛けは今後協議会や部会等への参画のお声かけを検討する市町村

※流域治水協議会の自治体には生態系ネットワークについて情報共有を実施予定

自治体名	生態系 ネットワーク 協議会	流域治水協議会			
		信濃川 中流	信濃川 下流	阿賀野川	荒川 下流
新潟市	●	○	○	○	
長岡市	●	○	○		
三条市		○	○		
見附市		○	○		
燕市		○	○		
弥彦村		○	○		
小千谷市		○			
五泉市			○	○	
加茂市			○		
田上町			○		
新発田市	●			○	
阿賀野市	●			○	
村上市					○
胎内市					○
関川村					○
聖籠町					
出雲崎町					

生態系ネットワークに関連する新潟県の関連部局

※網掛けは今後協議会や部会等への参画のお声かけを検討する関係部局

新潟県部局名	生態ネットワーク			想定される事項
	協議会	検討部会	活用部会	
環境局	●			
環境対策課		●		
環境政策課			○	環境教育
農地部	●			
農地計画課		●		
農林水産部	●			
農産園芸課		●		
林政課		○		林地における 環境整備の実施
治山課		○		林地における 環境整備の実施
土木部	●			
河川整備課		●		